

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)柏の葉キャンパス136街区新築計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境			0.40		-	2.9
1 音環境		2.7	0.15	-	-	2.7
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音		1.8	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		1.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	-	
1.3 吸音	仕上げ 床:タイルカーペット、天井:岩綿吸音板を使用。	4.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.0	0.35	-	-	2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.4	0.25	-	-	3.4
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御	窓面に庇を計画し、室内にブラインドの設置を行う。	4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度	事務室照度500lx	4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.8	0.25	-	-	3.8
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	別紙 仕上げ表により記載	5.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.6	0.40	-	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.6	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	別紙 平面図と計算式を記載。	5.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	別紙 キープランとAW建具表に記載。	4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	別紙 仕上げ表の提出。	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	別紙 平面図の提出。	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	カタログ資料を提示。	5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	別紙 機械設備 特記仕様書にダクト材料記載。	5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	別紙 機械設備 特記仕様書に配管材料記載。	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		3.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	別紙 空調換気設備図の提出。	4.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	別紙 給排水衛生設備図の提出。	3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	別紙 弱電設備図の提出。	4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	別紙 断面図の提出	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	別紙 平面図と計算式の提出	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	別紙 電気設備図	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	別紙 電気設備図	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		重点景観地区の景観形成基準を遵守、パースの提出。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	パースの提出	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		別紙 計算書の提出	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.62	4.8	0.50	-	-	4.8
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		別紙 衛生器具表・カタログを提出。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減	Hybridニーディング工法、スーパーEデッキ、F.T.Pile工法を使用	4.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	別紙 建具表 カタログを提出	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	執務室等の打ち合わせスペースについてはOAフロアとしている。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない接着剤、シール材を使用する。	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を使用した断熱材を使用していない。	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		ガス燃焼器の使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	境界線よりも深めの位置に内扉を設け、渋滞の緩和を計画。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		3.0	0.50	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	窓面に庇を設け、ブラインドの設置を行うことで光害対策を行う。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	